

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・部屋によって使用方法を変えている。使用方法は子どもたちにわかるように視覚化している。 ・部屋数、スペース、庭など適切な環境がある。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・今の利用児童のレベルでは人員配置的に問題は感じないが今後の新規利用の取り方によっては難しくなるかもしれない。 ・加配職員を確保できないことがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・段差などがあり、身体障害児の受け入れに適した環境ではない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで十分な協議を行った後に業務改善を行っている。改善後も検証の場を設けている。策定したシステムの理解度や実行面では職員間で差がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・集計した結果をもとに業務改善を行う予定。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・年間研修計画を定めて事業所内研修を行っている。 ・外部の方を招いての研修あり。今後も課題に直面した際に第三者の見解などをうかがえる機会をもうけたい。 ・外部研修の情報は豊富。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを行っているが、アセスメント内容が古いものもあり、定期的な更新が必要。 ・アセスメントや計画後に話し合いの場があるため、内容を理解した上で支援を行うことができる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたアセスメントツールを使用している。アセスメントシート内容をベースに事前に情報取得ができています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・チームで活動案を作成している。実行までに協議を重ねている。話し合いの内容の質を高めていく必要がある。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動毎に目標や行動目標を定め実施している。 ・月単位で固定しているがその中でローテーションで毎月曜日で重ならないように配慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に差があり特に長期休暇は時間を有効に使えていない日がある
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びや活動時など色々な生活場面で実行する療育について具体的に定め計画作成を行っている。 ・課題抽出を全体で行い、課題整理と支援方法の検討を一連の流れとして会議内で行い計画に反映している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前には打ち合わせを行っているが、土曜日や長期休暇は打ち合わせの時間がとれていない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・当日に翌日のミーティングを行い、朝礼でふりかえりや支援等の気づきや課題点の確認を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々正しく記録している。モニタリングや計画作成時のデータとして使用している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行っている。児童の実態に応じて計画の修正を行っている。 ・児童発達管理責任者が行ったモニタリングの報告を受けると同時に書面で確認を行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを抑えて運営を行っているが、スタッフに対するガイドラインの周知はできていない。 	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が参加している。必要に応じ児童指導員から様子や課題等の聞き取りを行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事前にできるだけHPなどを利用し確認は行っているが利用予定表提出期限と学校だよりなどの配布時期にズレがあり把握しきれていない部分がある。、保護者からの連絡がない部分に関しては、学校だよりの写メなど情報提供のお願いをすると同時に「学校のメール機能」や学校だよりを学校からもらうなど利用できるツールがないか模索する必要性も感じる。不足する情報は学校の教員に確認を行ってミスを防止している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを必要とする児童の利用希望はない。医療的ケアを実施できる環境がない。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・必要に応じ行っており、全ての児童に対して行っている訳ではない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・障害福祉サービスに移行した実績はないが、必要なケースがあれば情報提供を行う準備がある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・連携した事例はない。児童発達支援センターが開催する研修情報は職員間で共有している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・地域で同じ場を共有することはあるが、意図的な活動設定は今現在できておらず今後地域やボランティアの協力を得ながら活動設定していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・本年より子ども部会が発足し、役員を担当している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		・送迎時に報告や情報提供を行っているが理解の差や、保護者と会えないケースもある。定期的に写真等やSNSを使用して視覚的に情報提供を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・ペアレントトレーニングは行なっていないが、保護者から相談があった時は、情報共有した後、必要な助言などを行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に管理者が説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・モニタリング時や送迎時に行っている。内容によっては事業所に持ち帰り話し合いの場を設けている。客観的な意見を求められている際はその都度解答している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・保護者会はない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情はないが、要望についてはその都度対応を検討し回答している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		・月に1度活動予定表を配布している。今後は現代のニーズに合わせたSNSなど活用し活動状況を発信したい。

	35	個人情報に十分注意しているか	○			・誓約書、個人情報使用同意書、電子データのクラウド管理等により情報管理を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・ケースごとに伝え方や意思疎通の在り方を考え実践している。 ・視覚的なツールを使用し説明するなど、家庭内でも子どもとの会話のきっかけになりやすいように伝達している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・地域住民との接点を持つために意図的に行事などの機会を設定したことはない。訓練など必ず必要な物については、警察や消防等地域の機関の協力を得ながら実施している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・各種マニュアルを作成し、職員及び保護者に周知済。マニュアルはホームページに掲載しておりいつでも閲覧できる。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・防火、防犯、豪雨を想定した訓練を計画し随時実施している。ただし回数に限られているため、定期的に子どもたちへの周知や訓練も活動として行いたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止研修を内部研修で実施している。研修の中で理解を深めたが日常的に「どんなものが虐待になるか」など話し合いの場を行いオープンな問題にしていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・保護者の申告によって食物アレルギーを把握しており、医師の客観的なデータの取得をしたり、医師の指示にもとづく対応は行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・明確に怪我に繋がる可能性が高い事案が発生した場合、ヒヤリハット記録を作成し話し合いの機会を設けているが、ヒヤリハットに該当するか不明確なものも多いため、定期的に確認の場が欲しい。